

# 営農情報 (大豆)

令和4年8月30日

J A福岡大城、久留米・南筑後普及指導センター

## 1 生育概況

適期に播種が行われたことで、大豆の生育は順調です。播種時期により、生育に差があるため、ほ場の状況をよく観察し、適期作業に努めましょう。

## 2 病虫害防除

ハスモンヨトウは現在少ない状況です。ほ場に白変葉が見られない場合でも、カメムシ類・紫斑病と合わせて、下記の時期に防除します。

また、カメムシ類の発生が例年より多く、注意が必要です。カメムシ類の防除は、開花後20日と40日の2回行うことが効果的です。

### ①【ハスモンヨトウ・カメムシ類・紫斑病対策】

#### ○防除時期目安

播種時期	開花期目安	防除時期目安（開花後20日頃）
6月末～7月4日	8月12～20日頃	9月1日～9月10日頃
7月5日以降	8月20～30日頃	9月10日～9月20日頃

対象病虫害	薬剤名	希釈倍率	100Lあたり薬剤量	散布量	使用回数
ハスモンヨトウ	プレバソフロアブル5	4000倍	25mL	100～300L (3剤混合)	2回以内
カメムシ類	キラップフロアブル	2000倍	50mL		2回以内
紫斑病	トップジンM水和剤	700～1500倍	140～70mL		4回以内

※散布量（100～300L/10a）は、大豆の生育状況に応じて調節してください。

### ②【カメムシ類対策】9月20日頃～10月上旬

※3種混合防除の20日後頃に行います。

対象病虫害	薬剤名	希釈倍率	散布量	使用回数	使用時期
カメムシ類	スタークル顆粒水溶剤	2000倍	100～300L	2回以内	収穫7日前まで

薬剤抵抗性の発達を防ぐために、同一薬剤の連用を避け、ローテーション散布を心がけます。

**農薬の安全使用と飛散防止対策を徹底しましょう！**